

◆ **CEATEC 2019** ■ (シーテック 2019)
10/15 (火) ~ 18 (金) 幕張メッセにて開催!
CEATEC 2019「10月15日(火)~18日(金)
幕張メッセ」入場事前登録受付中!



http://www.ceatec.com/news/0822_top

1. CEATEC CONFERENCE 多彩なセッション
をお見逃しなく!

http://www.ceatec.com/news/0822_conf1

CEATEC CONFERENCE は、KEYNOTE/SUMMIT の他にも多彩なセッションが盛りだくさん。【全セッション無料/事前聴講予約あり】

現在聴講予約可能なセッションを紹介! 【10/15 (火) 初日編 その1】

■ **A 会場**

● 13:00-13:45 ★キーンノート【同時通訳付】

『瞬間移動技術「ANA アバター」が未来を変える』

ANA ホールディングス株式会社 代表取締役社長 片野坂 真哉 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf2

● 14:45-15:30 ★キーンノート【同時通訳付】

『ツーリズムで地域を元気に』

株式会社 JTB 代表取締役 会長執行役員 田川 博己 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf3

● 16:30-17:15 ★キーンノート【同時通訳付】

『移動で人を幸せに。モビリティの進化を支える JapanTaxi の取り組み』

JapanTaxi 株式会社 代表取締役社長 川鍋 一朗 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf4

■ **B 会場**

● 10:00-12:00

『情報通信が生み出す未来』

一般社団法人電子情報通信学会 会長 中沢 正隆 氏

野村総合研究所 研究理事 コンサルティング 副本部長 未来創発センター長 桑津 浩太郎 氏

NTT データ先端技術株式会社 相談役 三宅 功 氏

宇宙飛行士 山崎 直子 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf5

● 14:45-15:30【同時通訳付】

『イノベーションの源泉は顧客インサイトに -ビジネスとエクスペリエンスに革新をもたらすには』

レノボ PC & SD Vice President of Global Marketing, User and Customer Experience Bhatia Dilip 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf6

■ **C 会場**

● 10:30-12:10【同時通訳付】

『医療データ活用が拓く未来「医療情報利活用に向けた医療情報基本法制定の提案』

一般社団法人 日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 (JUMP)

代表理事 森田 朗 氏

衆議院議員/健康・医療・医学の総合政策に関する研究会共同代表

田村 憲久 氏

慶応義塾大学 教授 宮田 裕章 氏

http://www.ceatec.com/news/0822_conf7

★ 4 日間でまだまだ多くのセッションを開催。

追加セッションも含めて今後もどんどんご紹介していきます!

最新の CEATEC CONFERENCE 全プログラムはこちらから

http://www.ceatec.com/news/0822_conf8

2. 出展各社見どころ更新情報

出展各社がブースでの見どころを随時掲載!

☆小型ワイヤレス給電装置 HF 帯とその応用品

http://www.ceatec.com/news/0822_news1

☆ 200m 先から「XPAND コード」を読み取れる高性能アプリに Android 版登場

http://www.ceatec.com/news/0822_news2

☆仙台のスタートアップ企業、シェアリング IoT プラットフォームを提供。

http://www.ceatec.com/news/0822_news3

☆超高精度デジタル圧力センサ DLLR シリーズ発売

http://www.ceatec.com/news/0822_news4

☆低圧 4-20mA トランスミッタ TLAX 発売

http://www.ceatec.com/news/0822_news5

☆ 200m 先から読み取れる空間リンク「XPAND コード」、CEATEC に出展

http://www.ceatec.com/news/0822_news6

☆米国 A2LA の ISO/IEC 17025 認証 パワーサイクル試験

http://www.ceatec.com/news/0822_news7

☆日本初 材料評価用パワーデバイス試作・試験受託サービス

http://www.ceatec.com/news/0822_news8

☆「CEATEC 2019」に「音声対話ソリューションサービス」を出展

http://www.ceatec.com/news/0822_news9

今後も最新の出展情報が随々と更新されていきます!

3. CEATEC 2019 入場事前登録受付中!

CEATEC の入場には WEB での入場事前登録が必要です!

スマホからの入場事前登録による入場も可能です。

コンファレンスの聴講予約もこちらから!

http://www.ceatec.com/news/0822_regist

★ **2019 年の主な注目ポイント**

1. 未来社会のデザインが一堂に -Society 5.0 が実現する未来を体験-

◎ Society 5.0 TOWN ~ 「2030 年のまち」を構築する企画エリア~

http://www.ceatec.com/news/0822_showfloor1

2. 共創する未来に向けて、最新の技術と各分野のリーダーが集結!

◎出展者一覧（随時更新！）

http://www.ceatec.com/news/0822_showfloor2

◎ CONFERENCE（随時更新！）

http://www.ceatec.com/news/0822_conf9

3. Society 5.0の実現を支える、次世代の「IoT人材」を応援

◎ Co-Creation PARK

http://www.ceatec.com/news/0822_showfloor3

4. 会場拡大に伴いまだまだ出展申込み受付中。

20周年のメモリアルイヤーを迎える CEATEC 2019 では開催規模拡大に伴い、まだまだ出展申込み受付中！

CEATECは、あらゆる業種・産業を網羅する「Society 5.0の総合展」。新サービスや製品の発表はもちろんのこと、未来に向けたビジョンを披露する好機をお探しの企業、団体のみなさま、この機会を逃さずお申し込みを！

■出展は、3つのエリアから選べる。

CEATEC 2019には、3つのエリアを設置している。それぞれのエリアによって狙いや出展できる対象企業/団体が異なるので、出展目的や意図を鑑みた上で、最適な出展エリアを選択を。

■ 企業 / 団体展示

●トータルソリューション Society 5.0の実現に向けた、あらゆるソリューションや製品全般を展開するエリア。

●スマートX 特定の産業を革新的に変革するソリューションや製品を展開するエリア。特定産業のスマート化を図っている企業/

団体が出展できる。

●デバイス&テクノロジー Society 5.0の実現を支える、電子部品や電子デバイスおよびソフトウェアなどのテクノロジーを展開するエリア。

○出展を検討は http://www.ceatec.com/news/0822_app

あらゆる産業や業種を巻き込んだIoT総合イベントだからこそ、プライベートショーや専門展示会、インターネットだけでは実現が難しい、新しいビジネスの取り組み、企業の優位性など、横断的なPR活動が効率よく行える。皆様の出展、参加をお待ちしております。

■名称：CEATEC 2019（シーテック 2019）

■会期：10月15日（火）～18日（金）

■会場：幕張メッセ

■前回来場者数：156,063名

■主催：CEATEC 実施協議会

※問い合わせフォーム

http://www.ceatec.com/news/0822_contact

運営：CEATEC 運営事務局（一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会）

《 CEATEC 公式 SNS 》

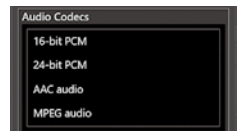
◎ Twitter

http://www.ceatec.com/news/0822_tw

◎ Facebook

http://www.ceatec.com/news/0822_fb

Cinegy Capture PRO



- ・ネットワークにも対応したインジェストアプライアンスWindowsソフトウェア
- ・マルチチャンネル/マルチフォーマット/マルチプロキシ/マルチユーザーをシングルアプリでコントロール
- ・HDで最大8入力チャンネル、1入力チャンネルに対して最大8個のマルチコーデック同時収録
- ・OPAtom Avid形式MXF、Apple認証ProResキャプチャ対応
- ・キャプチャ先を複数指定可能
- ・Gangでグループ化、またカレンダーや時刻によるスケジューリング可能
- ・Sonyプロトコルデッキコントロール
- ・ドロップフレーム検出
- ・メインおよびプロキシ収録映像にBurn In Time Code可能
- ・新たに1080/23.98PsFと非圧縮コーデックに対応



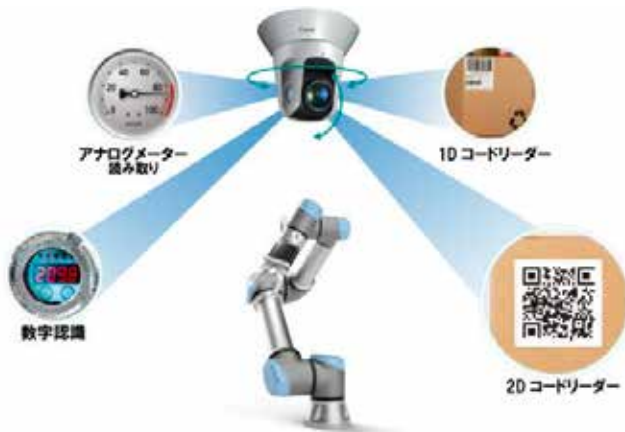
伊藤忠ケーブルシステム株式会社
クロスメディアソリューション本部
TEL.03(6277)1854

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-14 高輪パークタワー

◆キャノン・キャノンマーケティングジャパン：画像処理ソフトウェア Vision Edition U を発売

キャノンが日本企業で初めてユニバーサルロボット社の UR + 認証を取得

キャノンは、生産現場の自動化を支援する画像処理ソフトウェア「Vision Edition U」を 2019 年 10 月上旬より発売する。ユニバーサルロボット社（以下「UR 社」）の協働ロボットと連携する「Vision Edition U」は、日本企業で初めて UR 社の認定 製品プラットフォーム「UNIVERSAL ROBOTS」(以下「UR +」) の認証を取得した。



Vision Edition U が UR ロボットに提供する機能のイメージ

近年、人件費の高騰や人手不足などから 生産現場の自動化 に対するニーズが高まっている。このような中、キャノンは、「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」をコンセプトに、ネットワークカメラや産業用カメラなどのイメージング製品および、画像処理ソフトウェア「Vision Edition」2018 年 3 月発売 などを活用した生産現場の「見える化」を推進している。

今回新たに発売する「Vision Edition U」は、協働ロボットのリーディングカンパニーである UR 社製ロボット専用の画像処理ソフトウェアである。キャノン製のネットワークカメラなどと組み合わせ、UR 社製の協働ロボットと連動することにより、ロボットの手元から作業場の周囲まで、用途に応じて撮影・画像処理を行うことで、ロボットの「眼」の役割を担う。例えば、ロボットによる部品のピックアップ作業[※]において、画像処理により作業の抜け漏れを発見・防止したり、ロボットで部品を電子はかりに乗せる作業において、デジタルで表示される重量を画像 処理で認識し、基準を満たしているか確認を行ったりするなど、協働ロボットの作業に付加価値を与える。

協働ロボットの特徴は、人との協働作業を前提に設計されており、生産現場の規模や種類に応じて、容易かつ柔軟に活用できることです。「Vision Edition」も、ネットワークカメラが持つ光学ズームやオートフォーカス、パン・チルトなどの機能を用いた柔軟な画像処理設定が可能で、特殊なプログラミングを必要とせず容易に導入

できます。UR 社の協働ロボットと「Vision Edition U」を組み合わせることで、さまざまな生産現場の自動化に向けたソリューションを提供することが可能になります。

キャノンは、今後も協働 ロボットの「眼」の役割を担う、ネットワークカメラや産業用カメラ、画像処理ソフトウェア「Vision Edition」を幅広い協働ロボットに提供することで、生産現場の自動化を促進し、生産性や品質の向上に貢献していきます。

※特定の位置にある部品をつまみ上げ、決められた位置まで部品を移送する一連の作業。

キャノン株式会社

キャノンマーケティングジャパン株式会社

製品名 Vision Edition U

発売日 2019 年 10 月上旬



◆エレクトリ：Radial SW8-USB 発売のご案内

エレクトリは、Radial Engineering 社の SW8-USB を発売することを発表した。

Radial SW8-USB は、Mac 専用のオートスイッチャー /USB プレイバック・インターフェイスです。SW8-USB に接続したメインのプレイバック・マシンにトラブルが起きた場合に、バックアップ・マシンへ自動 / 手動 / リモート・コントロールのいずれかの方法で切り替えを行います。

製品の詳細は弊社 Web ページにて

<https://www.electori.co.jp/radial/SW8-USB.htm>



製品名 SW8-USB

価格 オープンプライス (実勢売価: 238,800 円 税抜)

製品コード EAN: 0676101044788

出荷開始日 2019 年 8 月 26 日

問い合わせ先: 株式会社エレクトリ

プロ営業部オーディオ課

TEL (03) 3530-6181

<https://www.electori.co.jp/>



◆ローデ・シュワルツ・ジャパン：バッテリーアプリケーションにおけるテスト&計測の新基準 R&S NGM200 直流電源シリーズ

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社（本社：東京都 新宿区 代表取締役: Jacques Jourda）は 2019 年 08 月 21 日から、新製品である R&S NGM200 直流電源シリーズを発売することを発表いたします。R&S NGM200 直流電源シリーズは、最大 20V の電圧と最大 6A の電流を出力でき、バッテリーで駆動するデバイス開発に最適な、高精度かつ高性能な機能を搭載している。2 象限アーキテクチャで、ソースとシンクモードの両方に対応し、30 マイクロ秒未満まで抑えた過渡応答時間により、IoT デバイスなどがスリープからアクティブモードに切り替わる際に発生する、高速な

負荷変動に対応することができる。

今回登場した R&S NGM200 シリーズと 2019 年 1 月から発売されている R&S NGL200 シリーズは、設計思想を共有する電源ファミリー。優れた性能と仕様を持ち、残留リップルとノイズを最小限に抑えた出力を安定して供給する。30 マイクロ秒未満の高速な過渡応答時間を誇り、数マイクロアンペアのスリープモードから数アンペアのアクティブモードへの切り替えが必要なデバイスの開発に最適である。2 象限アーキテクチャでソースとシンクの機能を提供し、電子負荷と同様にバッテリーの充電と放電をシミュレートすることもできる。大型の静電容量式タッチスクリーンとシンプルな操作コンセプトも加わり、直流電源の新しい基準となる製品として登場する。

R&S NGM200 直流電源シリーズでは、R&S NGL200 直流電源シリーズにはない、次の 4 つの新機能が搭載されています。マイクロ秒の範囲でもスパイクを捕捉する FastLog 機能、低い範囲でリードバックの精度を高めるために追加された測定範囲、バッテリーのモデリングをサポートして実際の条件をシミュレートするバッテリー・シミュレーション・オプション、テスト対象デバイスの回路の任意のポイントで電圧値を測定する内蔵デジタル電圧計。

FastLog 機能を使用すると、ユーザーは数マイクロ秒という短い電圧、または電流の変動を捕捉でき、デバイスのパフォーマンスをより分析することができます。また、R&S NGM200 直流電源シリーズは、1 秒あたり最大 500 k サンプルの収集レートで、電圧と電流のログを収集することができ、2 チャンネルモデルの R&S NGM202 は、両方のチャンネルで並行してデータ収集を実行することも可能。

リードバックの分解能と精度を最大限に高めるため、R&S NGM200 直流電源シリーズでは 4 つの電流測定範囲と 2 つの電圧測定範囲が用意され、最小範囲で 10nA/5 μ V のリードバック分解能を搭載している。

バッテリー駆動機器の場合、バッテリー出力性能の変化をシミュレートすることで、さまざまなバッテリー寿命段階での、現実的な電力条件を提供することができる。電力条件は、統合されたバッテリー・モデル・エディターを使用し、ユーザー独自のバッテリー・モデルに沿った、容量、オープン電圧、等価直列抵抗などの特性を定義することができます。また、鉛、リチウムイオン、ニッケルカドミウム、ニッケル金属水素化合物など、一般的な電池タイプの特性は、データセットが事前に用意されている。

オプションの R&S NGM-K104 を利用すると、追加のポートをアクティブにし、R&S NGM200 のデジタル電圧計機能を使用できる。回路の任意のポイントに接続して、電位差を測定できるようにする。

R&S NGM201 直流電源および R&S NGM202 直流電源は、弊社の各販売代理店から購入可能です。シングルチャンネルの R&S NGM201 は、429,000 円 (税別) から。

詳細については、

<https://www.rohde-schwarz.com/product/ngm200>

◆シャープ：8K タッチディスプレイの活用により、絵画や陶磁器などの美術品を細部まで鑑賞できる

「第 25 回 国際博物館会議京都大会 (ICOM Kyoto 2019)」に 8K インタラクティブミュージアムを参考出展



展示ブース (イメージ)



シャープは、9 月 1 日 (日) から 7 日 (土) まで、国立京都国際会館 (京都市左京区) で開催される「第 25

回 国際博物館会議京都大会 (ICOM Kyoto 2019)」に、70V 型 8K タッチディスプレイを活用した 8K インタラクティブミュージアムを参考出展する。絵画や陶磁器などの美術品の超高精細画像を 8K の大画面上に表示。拡大したり回転させたりすることで、実物を見るよりもさらに細部まで鑑賞することが可能となる。世界の博物館関係者が集まる同大会で、8K 技術を活用した新たな美術品の展示演出を提案する。

■ 展示内容 【8K タッチディスプレイを活用した 8K インタラクティブミュージアム (参考出展)】

1. 絵画などの超高精細 8K 画像

・国宝「洛中洛外図屏風 (舟木本) ^{※1}」をはじめとする絵画や、植物・昆虫などの超高精細 8K 画像を鮮やかに映し出す。タッチパネルによる直感的な操作で画像を自由に拡大・縮小できるので、緻密な描写や筆のタッチまで確認できる。また、植物の葉脈や昆虫の体の構造など、肉眼では見えない細部までじっくりと観察することが可能となる。

2. 陶磁器などの超高精細 3DCG 画像

・重要美術品「大井戸茶碗 銘 有楽 ^{※2}」などの 3DCG 画像を、8K 解像度で表示する。タッチ操作で画像を上下左右に回転させることができるので、茶碗の曲線美や表面の細かな縮れ模様まで、あらゆる角度から鑑賞することが可能になる。手に取ることが難しい貴重な美術品を、あたかも目の前で鑑賞しているような感覚をもたらす、新たな展示演出を提案する。

■ 出展場所：国立京都国際会館 イベントホール ブース #E13

国際博物館会議京都大会 (ICOM Kyoto 2019) とは、1946 年にパリで創設された、ミュージアム (美術館や博物館) の発展を目的とする国際的な機関で、世界各国のミュージアム関係者が加入している。3 年に一度、会員が一堂に会する「大会」が開催されており、今年は初めて日本で実施される。なお、シャープは本大会に、シルバースポンサーとして協賛している。

「第 25 回 国際博物館会議京都大会 (ICOM Kyoto 2019)」について <https://icom-kyoto-2019.org/jp/index.html>

※ 1 画像提供・監修：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター、東京国立博物館

※ 2 撮影協力・監修：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター、東京国立博物館

◆ブラックマジックデザイン：Softball の GOLD National Championships、Blackmagic Design 製品でライブストリーミング

Blackmagic Design は、GlobeStream Media が USA Softball の GOLD National Championships のライブストリーミングに、URSA Broadcast カメラおよび ATEM Television Studio Pro 4K ライブプロダクションスイッチャーを含む、多数の Blackmagic Design 製品を使用したと発表した。同社は、これらの機器を用いて、9 つのグラウンドでの 500 時間以上に及び光チャンネルの放送をキャプチャーした。



テキサス州プレイノの Heritage Yards ソフトボールコンプレックスで開催された、6 日間にわたるトーナメントには、全米から 70 チーム以上が出場し、18 歳以下と 16 歳以下の部門でしのぎを削った。

GlobeStream Media はテキサスに拠点を置く、世界的な放送ライブストリーミングのサービスプロバイダーで、Blackmagic Design 製品一式を使用して、トーナメントの 247 試合をライブストリーミングで配信した。

ワークフローには、URSA Broadcast および Micro Studio Camera 4K、Blackmagic Camera Fiber Converter および Blackmagic Studio Fiber Converter、ATEM Television Studio Pro 4K および ATEM 1 M/E Production Studio 4K、ATEM 1 M/E Advanced Panel および ATEM Camera Control Panel、Smart Videohub ルーター、HyperDeck Studio Mini および HyperDeck Studio Pro レコーダ、SmartScope Duo および SmartView 4K モニター、Teranex Mini Audio to SDI コンバータ、Blackmagic Audio Monitor、MultiView 4、DeckLink 8K Pro をはじめとする DeckLink キャプチャー・再生カードが使用された。

予選リーグや序盤の対戦のストリーミングには、ホームベースの後ろに Micro Studio Camera 4K がマウントされた。「USA Softball とプレイノ市が、トーナメントのライブストリーミングを依頼してきた際に話し合ったことのひとつが、カメラの配置でした。Heritage Yards の 9 つのグラウンドそれぞれのバックネットにカメラを 1 台ずつ設置して、ホームベースの後ろからグラウンドを見下ろすような、ワイドショットを撮影して欲しいというのが先方のリクエストでした。カメラは小型で軽量でありながら高画質が得られる必要があると、すぐに気づきました。そこで、Micro Studio Camera 4K の使用を提案するに至るまでに時間はかかりませんでした」と語るのは、GlobeStream Media の社長 / 共同設立者の Brett Casadonte 氏。

各部門の順位決定戦と優勝決定戦には、1 台の Micro Studio Camera 4K に加え、グラウンドのアクションをキャプチャーするために、Camera Fiber Converter および Studio Fiber Converter に接続した 3 台の URSA Broadcast の合計 4 台のカメラを使用した。

「Blackmagic Design のカメラを使用した一番の理由は、その優れた画質です。同じくらいに重要なのは、ワークフローです。

Camera Fiber Converter と Studio Fiber Converter を使用することで、標準の SMPTE 光ケーブルを使用して、カメラコントロール、タリー、トークバック、電源、リターンプログラムフィードを 1 本のケーブルで、カメラマンに送信できました」と同氏は続ける。「非

常に多くの時間と費用が節約でき、午前中に行っていた 1 台のカメラでのライブストリーミングから、午後には 4 台のカメラを使用したマルチカム放送に簡単に切り替えられました。電源ケーブル、スタッフ間の通信用の XLR ケーブル、タリーケーブル、ビデオ入出力用の SDI ケーブルを個別に使用する必要があったら、このような転換は不可能だったでしょう。」同氏のもう一つの懸念は、夏のテキサス州の気温だった。「今回の制作に使用したカメラはすべて、高温でも問題なく機能してくれました。毎日 35°C 以上の猛暑の中、10 ~ 12 時間、間断なく撮影する必要がありましたが、Blackmagic Design のカメラの製造品質と信頼性の高さのおかげで、Micro Studio Camera 4K は、その持久力と丈夫さを証明し、灼熱のテキサスでも失速することなく活躍してくれました。」

残りのセットアップは、以下が使用された。スイッチングには、Studio Fiber Converter を Smart Videohub 20x20 に接続して、カメラフィードを ATEM Television Studio Pro 4K に送信した。また、プログラムのメインとバックアップの収録に SmartView 4K と HyperDeck Studio Mini、信号のモニタリングに SmartScope Duo、カメラのカラー調整に ATEM Camera Control Panel、複数の DeckLink も使用された。「ATEM スイッチャーは、弊社の全プロダクションにおいてメインの役割を果たしてきています。ATEM を基盤にビジネスを築いたと言っても過言ではありません。ATEM Camera Control Panel が発売されたことで、野外のスポーツ中継を今まで以上に簡単に行えるようになりました。」と同氏。「カメラのカラーと露出をすばやく微調整できるので、制作全体においてルックが統一され、シームレスにマッチします。」各年齢部門の順位決定戦と優勝決定戦は、2 つのグラウンドで同時に開催された。その撮影に GlobeStream Media は、ATEM 1 M/E Production Studio 4K、ATEM 1 M/E Advanced Panel、Smart Videohub 40x40、SmartScope Duo、HyperDeck Studio Mini、HyperDeck Studio Pro、MultiView 4、Teranex Minis Audio to SDI、Blackmagic Audio Monitor を使用した。「他社のソリューションと Blackmagic Design の大きな違いは、Blackmagic は制作に対して総合的なアプローチを取っている点です。カメラからスイッチャーまで、制作に必要な一式を製造することで、パーツの合計だけではないソリューションを作成できます。Blackmagic Design は、総合的な制作ワークフローを構築していると思います。分かりやすく、セットアップしやすく、使用するのが楽しいだけでなく、効率的に低コストで仕事を行える点で非常に優れていると思います。」と同氏。

「Blackmagic Design は、放送における生態系を作り出しています。それに加え、内蔵されたタリー、トークバック、カメラコントロール、統合されたフォーマット変換、直感的で使いやすいソフトウェアなども提供しているので、放送プロダクションを真の意味でプラグアンドプレイで実現できます。今回のトーナメントでは、それが非常に重要でした。最終日は、午前中に行われた準決勝用の 1 台のカメラでのライブストリーミングから、わずか数時間で午後の順位決定戦と決勝戦用にマルチカム放送のセットアップに転換する必要があったからです。Blackmagic Design の製品のおかげで、これも簡単に実行できました。ライブプロダクションではやり直しがきかないので、堅実で、信頼性が高く、繰り返しデリバリーに使用できる機材が必要です」と同氏は締めくくった。

◆ティアック：dBTechnologies ポータブル PA システム ES シリーズ『ES 1203』のホワイトモデルを新発売

ティアック株式会社(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:英 裕治)は、イタリアの PA/SR スピーカーブランド dBTechnologies ポータブル PA システム ES シリーズ『ES 1203』のホワイトモデルを全国の設備機器代理店を通じて販売開始した。



dBTechnologies

品名：ポータブル PA システム / 型名：ES 1203 WHITE

色：ホワイト / メーカー希望小売価格：360,000 円 (税抜)

発売予定日：2019 年 8 月下旬

品名：ポータブル PA システム
型名 ES 1203

色：ブラック / メーカー希望小売価格 360,000 円 (税抜) 発売中

dBTechnologies ES (Entertainment System) シリーズの『ES 1203』にホワイトモデルが追加された。

ES シリーズのフラグシップモデルである ES 1203 は、4 インチミッドウーハーを 4 個搭載した木製パッシブ型サテライトスピーカー 2 台と 12 インチウーハーを 2 個搭載した木製筐体のサブウーハー 1 台によって構成されたステレオ PA システムである。

1 つのサテライトスピーカーに、4 インチミッドウーハーを 4 個搭載し、フェーズプラグとスピーカー側面に対数曲線を使用した形状を組み合わせ、最適なカバレッジを実現。

Bluetooth® 接続を含む豊富な入力系統や専用 DSP による様々なパラメーターの制御、シングルコラムやステレオ、ダブルコラムなど汎用性の高いセッティングが可能なスレーブ出力、コンパクトながら様々なシチュエーションでの PA システム構築が可能。

尚、9月2日に開催されますスピーカーイベント『dBTechnologies Day』において、展示予定です。イベント詳細はこちらをご覧ください。 <https://tascam.jp/jp/support/news/6047>

【dBTechnologies ES シリーズ製品サイト】

https://tascam.jp/jp/product/dbtechnologies_es/top

dBTechnologies はイタリアを拠点に、世界各国で多くの導入実績を持つ PA/SR スピーカーブランドです。小規模イベント向けのコンパクトなスピーカーユニットから、スタジアムクラスの大規模会場向けラインアレイスピーカーシステムまで、幅広いラインナップを誇ります。長い歴史によって支えられる高い技術力と品質によって、PA/SR のプロフェッショナルから高い評価を得ています。

ティアック株式会社 タスカムカスタマーサポート

TEL:0570-000-809 (ナビダイヤル) 042-356-9137 (携帯

電話・PHS・IP 電話)

URL: <https://tascam.jp/jp>



◆ソニー：耳に装着するだけでスマートフォンを介さずに仲間との会話ができるウェアラブルコミュニケーションギア「NYSNO-100」クラウドファンディングサイト First Flight にて支援募集開始

ソニーは、ソニーのクラウドファンディングサイト「First Flight (ファースト・フライト)」にて、耳に装着するだけでスマートフォンなどを介さずに離れた場所にいる仲間との会話を可能にするウェアラブルコミュニケーションギア「NYSNO (ニスノ)-100」の支援募集(クラウドファンディング)を開始します。と発表した。「NYSNO-100」はスタートアップの創出と事業運営を支援する「Sony Startup Acceleration Program (ソニー・スタートアップ・アクセラレーション・プログラム/SSAP)」のオーディションを通過した案件で、現在事業化に向け準備を進めている。

掲載 URL: <https://first-flight.sony.com/pj/nysno>



▼「NYSNO-100」とは耳に装着するだけで、スマートフォンなどを介さずに離れた場所にいる仲間との会話を可能にするコミュニケーションギアだ。ソニー独自の「グルーブトーク」機能を搭載しており、予め互いに登録した「NYSNO-100」を装着した者同士が、2 者間通信距離最長約 500m の範囲で同時会話を楽しめる。なお、最大 3 名で会話することができる。

本製品は、耳を塞がずに周囲の音が聞こえるアンビエントイヤープースや風切音を軽減する内蔵マイクなど、ソニーのオーディオ開発で培った技術を用いて高音質かつ自然でクリアな音と快適な会話環境を提供する。

さらに、海水にも対応した防水性能や防塵、耐衝撃、耐低温性能を備えるとともに、激しい運動でも外れないイヤーハンガーが付いていることで、スノースポーツやサーフィン、マウンテンバイクといったアクティブなスポーツシーンでも使用することができる。

▼支援募集(クラウドファンディング)詳細

ファンディング目標額に達成すると、支援(予約購入)された方々に製品を届ける仕組み。

支援された方々からフィードバックも活かしながら製品開発を進められる。

○クラウドファンディング開始：2019 年 8 月 26 日

○クラウドファンディング終了：2019 年 9 月 26 日 (予定)

※支援プランの内容や製品の主な仕様、その他詳細は以下のサイトを参照。

<https://first-flight.sony.com/pj/nysno>